

加入者の声



「大雪に備えて園芸施設共済の加入を」

【岡山県高梁市 前原 伸次さん(61)】



令和2年4月上旬の積雪でハウス1棟が全壊しました。トマトの定植準備で毎日ハウスに通っていましたが、1日の積雪で倒壊してしまい、自然災害の恐ろしさを実感しました。

以前から園芸施設共済には加入していましたが、制度改正を機に10万円以上の損害から支払対象となるプランに加入していました。

再建には約200万円の費用がかかりましたが、NOSAIからの共済金と市の補助のおかげで、翌年の4月には再建でき、トマトの定植にも間に合いました。さらなる備えとして、再建したハウスはハウス中央に支柱を入れるなどの積雪対策をしています。

(広報誌「NOSAIおかやま」No.15 2023新年号より)

「備えを忘れずに、園芸施設共済の加入を」

【岡山県鏡野町 牧野 達也さん(42)】



昨年(令和3年)の台風14号でハウスの屋根全面が破れてしまいました。

近年は台風被害が少なかったのですが、いざハウスの被害を受けると、園芸施設共済に入っていてよかったと思いますね。

今は補償内容を選択し、経営に応じた内容にすることができるので、更新の際は担当者と内容をよく吟味しています。

(広報誌「NOSAIおかやま」No.17 2023夏号より)